

報道資料

第 2 回 障がい者スポーツ吹矢競技会 開催

(社)日本スポーツ吹矢協会は、この度、第 2 回 障がい者スポーツ吹矢競技会を開催します。
この競技会は、障がいをお持ちの協会員を対象とした全国規模の公式な大会で第 2 回目となります。
障がい者会員も増え、日頃の練習の成果を発揮していただく場として約 80 名が個人戦を競います。

当協会は、現在、会員数 1 万 7 千人、地域支部は 430 支部となり、「誰でも」「いつでも」「どこでも」手軽にできる生涯スポーツとして、公共団体・カルチャー教室、企業の福利厚生、学校の課外活動など活動の幅を広げています。特に昨年の競技会を契機に、障がい者のスポーツとして認知が進んでおり、リハビリテーションの一環としてだけでなく、人と集い、仲間とともにスポーツを楽しみたいと社会参加の一助となっていると各自治体や社会福祉関連団体からも高く評価をいただいております。

◆ 第 2 回障がい者スポーツ吹矢競技会 概要

開催日時 ; 平成 21 年 9 月 29 日(火) 午後 0 時 45 分開会(正午受付開始)

開催会場 ; 東京・港区スポーツセンター(東京都港区芝浦 3-1-19 JR ほか「田町」3 分)

開催内容 ; 【競技会個人戦】 4 ラウンド(1 ラウンド= 5 本)の合計で得点化します

【部門】 車椅子部門、片麻痺部門、立位部門の計 3 部門

会場内に、無料体験コーナーも設置、障がい者サポート部の指導員のもと、体験していただけます

参加資格 ; ①協会員 ②障がい者手帳交付者、あるいはその対象に準ずる障がいのある方
③介助が必要な方は必ず同席のこと

参加人数 ; 80 名 ※定員に達しておりますので参加募集は締め切りました

後援 ; 文部科学省、港区教育委員会、(財)港区スポーツふれあい文化健康財団

協賛 ; 大王製紙(株)様、日本印刷(株)様、キリンビール(株)様、持田製薬(株)様 他

● 最新協会プロフィール、及びスポーツ吹矢については別紙資料をご参照ください



(第 1 回競技会より 左：競技中 中央：全員集合 右：体操)

■ この件に関するお問い合わせ先 ■

社団法人日本スポーツ吹矢協会 広報部

TEL: 03-3538-5837 FAX: 03-3538-5836

参考資料

◆障がい者サポート部、及び本協会の障がい者向け活動状況について

【障害者サポート部】

協会では、平成18年12月には【障がい者サポート部】が発足し、3月より正式に活動をスタート、障がい者の在籍する地域支部の活動支援をはじめ、障がい者を指導する指導員の育成にも力を注いでまいりました。平成20年には「障がい者スポーツ吹矢連絡協議会」を設置し、協会本部と各地域支部との情報を共有化し、体験会のサポートなど、ますますの運動を図っていくため体制強化しております。

平成20年9月、「第1回障がい者スポーツ吹矢競技会」を開催。

●障害者サポート部 荒井和子部長

①リハビリテーションの一環としてのスポーツ吹矢

スポーツ吹矢は、「誰でも」できるスポーツです。

障がい者も健常者と同じように練習を重ねており、その人に合った補助具を用いたり、指導の工夫をしております。障がい者の級・段位保持者や公認指導員も増えてきており、また各地で障がい者向けの体験会も活発化してきました。

＜これまでの実績＞

脳梗塞による半身不随

喘息、公害病など呼吸器系疾患

パーキンソン病

聴覚・視覚障がい者

知的・精神障がい者

等

※医療関係者より注目を集めています

スポーツ吹矢の特長である「誰でもできる」こと「スポーツ吹矢式呼吸法」を使ったスポーツであることが、多くの医療関係者の注目を集めております。呼吸器の専門医である協会顧問の荒井他嘉司先生（国立病院機構災害医療センター名誉院長）、早くからリハビリテーションとしてクリニックのプログラムに取り入れていただいている八子芳樹先生（理事／YAGOメディカルクリニック・スポーツドクター・健康運動指導士／福島県）をはじめ、臨床の現場での導入や研究など、スポーツ吹矢の健康的・精神的な効果に着目していただいております。

○パーキンソン病（川嶋乃里子／会員／川嶋クリニック 神奈川県）

○地域統合医療（山本竜隆／会員／朝霧高原診療所 静岡県）

他、COPDの研究や子どもの睡眠障害対策へスポーツ吹矢の導入も検討されています。

②介護予防運動 ～高齢者にも最適

介護予防運動とは、いつまでも自分の手足で元気に動けるよう、足腰の衰えや頭の衰えを予防する運動のことをいいます。病気の予防ではなく、要介護の予防としてこれからの高齢化社会に必要とされ注目を集めている「元気に長生き」の新しい概念です。

スポーツ吹矢を通して、地域行政と運動し、社会参加の基盤づくりを積極的に支援しています。